

2

子どもたちの温かい心を世界へ

報告者 岐阜県岐阜市立島小学校 伊藤 弘晃先生

ポイント

岐阜市立島小学校では、児童会や6年生が中心となり、世界の子どもたちの恵まれない現状やその子どもたちを支援するユニセフの活動について調べ、全校朝会で発表する取り組みを続けてきました。

また、本校では、島地区の特産物である枝豆を、地元のJAの方のご協力をいただきながら栽培しています。種まきから始まり、植え替え、収穫、そしてバザーと全校がこの栽培活動に取り組んでいます。全校が力を合わせて栽培した枝豆の収益金を、ユニセフに募金するという形で、世界の子どもたちのために使おうということに決めました。



たくさんの掲示で
ユニセフ活動につ
いて全校に伝えて
います。



種まき、植え替え、収穫と全校
で力を合わせて枝豆を育て、そ
の収益金を全て募金します。



感想

今日の食べ物にさえ困っている状況の子どもたちを、ユニセフの資料やビデオなどで知って、食べ物が豊富にある生活をしている子どもたちにとっては、大きな驚きだったようです。それをきっかけに、自分たちにできることは何かを考え、枝豆の収益金を募金することを全校で決定しました。

世界の子どもたちの現状を知ることや、ユニセフがどんな活動を行っているのか知ること、これからの国際社会で生きていくための幅広い視野を育てるとともに、困っている人に手を差し伸べるといった温かい気持ちを育む上で、とても大切なことであると考えています。